

# こまば発さいはひ行 銀河鉄道の夜の旅 — あなたのものがたりをつむぐ哲学ドラマワークショップ in UTCP

宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』をご存じでしょうか？ お父さんが漁に出たまま帰ってこないジョバンニは、朝にも午後にも仕事がつらく、学校に出てもみんなと遊ぶことも先生の質問に答えることもできません。ケンタウル祭の夜も烏瓜（からすうり）を流しにいく仲間の輪に加わることができず、一人、丘の上へ登っていくと、どこからともなく「銀河ステーション」と告げる声が聞こえ、いつの間にか銀河鉄道に乗っていました。目の前には親友カムパネルラが座っています。このワークショップでは、ジョバンニとカムパネルラの乗った銀河鉄道に参加者も乗車し、哲学対話を重ねながら、身体を使って自分たちの銀河鉄道の夜の旅をつくり上げていきます。果たしてあなたの旅はどこへ向かうのでしょうか？ その旅路はあなた自身の探究の旅、すなわち演劇という空想を通じた当事者研究につながることでしょう。

日時：2015年7月12日(日) 13:00-17:00

場所：東京大学駒場Iキャンパス 21 KOMCEE 101

使用言語：日本語 | 参加費無料 | 要事前登録 | 定員 30名

- ◆主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部付属 共生のための国際哲学研究センター (UTCP) 上廣共生哲学寄付研究部門
- ◆ファシリテーター/出演：松山侑生 (こまば当事者研究会、UTCP 研究協力者)、大谷賢治郎 (company ma 代表、国際児童青少年演劇協会日本センター理事、UTCP 研究協力者)、庄崎真知子 (劇団銅鑼)、古館一也 (company ma)、水谷みつる (こまば当事者研究会、UTCP 研究協力者)、梶谷真司 (UTCP)
- ◆企画：水谷みつる、松山侑生、大谷賢治郎
- ◆コーディネーター：石原孝二、梶谷真司
- ◆写真：齋藤陽道/デザイン：堀田敦士

## あなたのご乗車を銀河鉄道でお待ちしております

### 「哲学ドラマ」とは？

「哲学ドラマ」は、演劇という架空の世界を通じて、「当事者研究」と「哲学対話」を橋渡しするワークショップです。

2001年にべてるの家で始まった「当事者研究」は、仲間と対話しながら、自らの苦勞のメカニズムを「自分自身で、ともに」に探究し、人とのつながりを取り戻していく試みです。これは、「自分」を「哲学」することに通じます。

一方、「哲学対話」は、他者との対話を通じて問いを探究する実践で、その過程では三つのC（コミュニティ、クリティカルシンキング、ケアリング）が育まれます。それは、自分で自分の問いに一人で向き合うことが許される場としても利用され得ます。現在では学校やカフェなどさまざまな場所で行なわれています。

この二つを合わせた「哲学ドラマ」では、同じ場に居合わせた他者とともに、身体を使って物語のなかに深く入り込み、物語の投げかけるテーマを登場人物の姿を借りて自分のこととして考え、探究していきます。自分ではない誰かとして物語の世界に生きることで、これまで意識してこなかった自分の苦勞とそのメカニズムに気づくかもしれません。

### 参加を希望される方へ

- ◆事前登録が必要になります。下記 UTCP ウェブサイトのイベント欄にある申し込みフォームより、お申し込みください。先着順で定員に達し次第、申し込みを締め切ります。
- ◆会場では靴を脱ぎ、床に座りますので、靴下等をご持参のうえ、動きやすい服装でお越しください。床に座ることが困難な方は、椅子を用意していますので、当日、お申し出ください。
- ◆会場は、ふたのついたお飲物等を除き、原則として飲食はできません。生協購買部は定休日になりますので、お水等が必要な方はご持参ください。
- ◆ワークショップに関するお問い合わせ：philodrama@outlook.jp
- ◆UTCP ウェブサイト：<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp>

### UTCP 上廣共生哲学寄付研究部門について

共生のための国際哲学研究センター (UTCP) は東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属する哲学の国際的な共同作業のための研究センターです。グローバル時代に対応する哲学・思想の国際的ネットワークを形成し、研究を推進します。また、その成果を広く国内外に公表するとともに、新たな人材の育成及び幅広い学際的・社会的・国際的連携活動の推進に資することを目的としています。

上廣共生哲学寄付研究部門は、グローバル化の急速な進行とともに生じている価値の多元化と衝突という人類共通の問題に対して共生の理念を掲げ、異なる民族や異なる宗教、異なる文化と社会がどのように関わるべきか、地球と人間、科学と人間の関係はいかにあるべきかを問う「共生の哲学」の研究を推進します。そのために国内外で分野領域を超えて哲学的実践知のネットワークを形成しつつ、その最前線で次世代を担う若い研究者を育成します。そのようにして研究と実践の「現場」から哲学的思考を立ち上げ、積み重ねていくことで、将来に向けて共生のための倫理の再構築を試みます。